

誰もが自分らしく

生きられる社会へ

性の多様性について理解する

（閩人権啓発センター（氷上住民センター別館内） ☎ 82-0242

性のあり方は多様です

私たちの中には、好きになる性が必ずしも異性のみでない人、こころの性とかからだの性が異なる人などがあります。どの性別の人を好きになるかは、人それぞれ異なります。自分の性別をどのように認識するかも、人それぞれ異なります。人の数だけ性のあり方があると言ってよいかもしれません。（次ページの「性の多様性に関する基礎知識」参照）

性的マイノリティは身近な存在

性のあり方は多様ですが、必ずしも目に見えるものではありません。

ただ「見えない」からといって自分の周りに性的マイノリティが「いない」ということではありません。電通ダイバーシティラボの調査によると、性的マイノリティに該当すると答えた人が8.9%おり、私たちの家族、友人、同僚などとして、様々な所で共に暮ら

す身近な存在です。

また、周りの無理解や偏見の中で、様々な困りごとに直面したり、悩みを抱いたりしています。

・「ホモ」「オカマ」など差別的な言葉に傷ついた。

・いじめやハラスメントの被害にあった。

・書類の性別と外見が異なるため、就職活動で差別されないか不安。

・誰にも相談できずに孤立している。

など、こうした困りごとや悩みを抱えている性的マイノリティの人々が「いる」ことを知り、理解を深めていくことが重要です。

「カミングアウト」と「アウティング」

これまで公にしていなかった自分の性的指向や性自認を本人が表明することを「カミングアウト」といいます。

もし、あなたがカミングアウトなどの相談を受けた場合、それはあなたが信頼されていることの証です。その思いを真摯に受け止めること

が大切です。同時に、本人の同意がない限り、絶対に口外しないようにしてください。

一方、本人が公にしていることを「アウティング」といいます。

性的指向や性自認は非常に繊細な個人情報で、慎重に対応する必要があります。アウティングによって、本人が学校や職場、地域で居場所をなくしたり、命を落とすケースもあります。決して行わないようにしましょう。

大切なこと

性的マイノリティの人々は、今日も私たちと共に暮らしており、様々な思いや事情を抱えながら、自分らしく生きたいと願っています。性格や体形が一人ひとり違うように、人の性のあり方もみんな違って多様です。

私たち一人ひとりが多様な性のあり方を知ることが大切です。一人ひとりの人権が尊重され、幸せに暮らせる社会の実現をめざしましょう。



「パートナーシップ宣誓制度」が始まりました

4月1日、丹波市で性的マイノリティの人々がパートナーとともに人生を歩んでいく上での支援となる「パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。婚姻制度のように法的な効力はありませんが、この制度の導入により、性的マイノリティの人々への社会的理解が進み、多様な性を尊重し、悩みや生きづらさを抱えている様々な人が自分らしく幸せに生活できることを、市として応援していこうとするものです。



制度の詳細はこちらから



パートナーシップ宣誓制度とは

一方または双方が性的マイノリティであり、互いを人生のパートナーとして、日常生活において相互に協力し合うことを約束した二人に対して、市がパートナーシップの宣誓書受領証の交付を行う制度です。



宣誓を行うことができる人

一方または双方が性的マイノリティであることのほか以下のいずれにも該当している人

- ①双方が宣誓の当日に成年（18歳以上）
- ②一方または双方が市内在住または転入予定
- ③双方に配偶者がいない※事実婚を含む
- ④双方が宣誓しようとする相手の他にパートナーシップの関係にある者がいない
- ⑤宣誓者同士の関係が近親者でない



パートナーシップ宣誓制度手続きのながれ

1

事前書類審査

事前に人権啓発センターへ、書類を直接または郵送で提出ください。併せて宣誓書受領証等の交付の日時・場所を調整します。

2

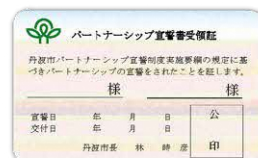
パートナーシップ宣誓

申請者の2人が同時に来庁して宣誓書に名前を記入します。※個室で対応も可能です。

3

宣誓書受領証の交付

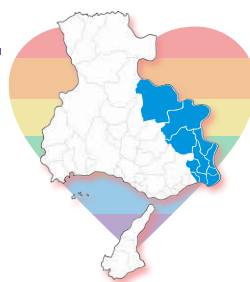
宣誓書受領証の交付に費用はかかりません



阪神・丹波9市1町でパートナーシップ宣誓制度の取組に関する連携協定

すでにパートナーシップ宣誓制度の協定を締結している**尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町**の取組に、**丹波篠山市**と**丹波市**が加わり、令和5年4月1日に新たに「阪神・丹波9市1町」で協定を締結しました。

締結自治体間での当事者の転入・転出時の手続きを簡略化し、負担を軽減します。また、連携して性の多様性への理解を深める啓発などを推進します。



ひとりで悩まず相談を

兵庫県では、LGBT等性的マイノリティの方やその周りの方々の相談に応じるため、専門電話相談窓口を開設しています。本人、家族、友人、教員など誰でも相談できます。

匿名での相談ができ、秘密は必ず守られます。

- 問い合わせ先 / 050-3637-7521
- とき / 毎週土曜日
午後6時から9時※12月30日を除く
- 対象者 / 本人、家族、支援者など
- 相談員 / LGBT支援団体専門スタッフ
- 相談形式 / 電話、面談※要予約



パートナーシップ宣誓制度の取組に関する協定書

尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、丹波篠山市、丹波市及び猪名川町（以下「締結自治体」という。）は、パートナーシップ宣誓制度の取組について、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、締結自治体のいずれかのパートナーシップ宣誓制度を利用している者（以下「利用者」という。）に対して、安心していきいきと生活し、個性を発揮できるよう支援することを目的とする。

（内容）

第2条 締結自治体は、パートナーシップ宣誓制度の運用等について共同して様々な取組を進めるものとする。

2 締結自治体は、他の締結自治体から転入してきた利用者については、既に他の締結自治体で受領証等が交付されている事実を踏まえ、再度の宣誓手続の負担軽減を図るため、締結自治体がそれぞれ定めるところにより、簡易な手続で受領証等を交付するものとする。

3 締結自治体は、前項の規定により受領証等を交付したときは、利用者の同意に基づき、その旨を利用者の転入元の締結自治体へ通知するものとする。

（協定の解消）

第3条 締結自治体は、解消予定日の1月前までに書面により相手方に通知することにより、この協定を解消できるものとする。

（個人情報の取扱い）

第4条 締結自治体は、この協定に基づき共有する利用者の個人情報について、個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、適切に取り扱うものとする。

（連絡会）

第5条 本協定による共同の取組や利用者への支援を円滑に推進するため、協議の必要があると認めるときは、連絡会を開催することができる。

2 前項の連絡会の開催は、締結自治体間の協議によるものとする。

（疑義）

第6条 この協定に定めのない事項又はこの協定の内容に疑義が生じたときは、その都度、締結自治体が協議して定めるものとする。

(効力発生日)

第7条 この協定は、令和5年4月1日からその効力が生じる。

この協定の締結を証するため、本書10通を作成し、各自1通を保有する。

令和5年4月1日

尼崎市東七松町1丁目23番1号

尼崎市

尼崎市長 松本 眞



西宮市六湛寺町10番3号

西宮市

西宮市長 石井 登志郎



芦屋市精道町7番6号

芦屋市

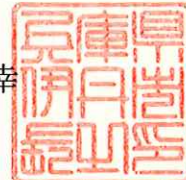
芦屋市長 伊藤 舞



伊丹市千僧1丁目1番地

伊丹市

伊丹市長 藤原 保幸



宝塚市東洋町1番1号

宝塚市

宝塚市長 山崎 晴恵



川西市中央町12番1号

川西市

川西市長 越田 謙治郎



三田市三輪2丁目1番1号

三田市

三田市長 森 哲男



丹波篠山市北新町41番地

丹波篠山市

丹波篠山市長 酒井 隆明



丹波市氷上町成松字甲賀1番地

丹波市

丹波市長 林 時彦



川辺郡猪名川町上野字北畑11-1

猪名川町

猪名川町長 岡本 信司



一人で悩まないで 相談してみませんか

相談無料



秘密厳守

匿名可能

性的マイノリティ特設電話相談窓口

・予約方法

人権啓発センターまでお電話、または申込フォームでお申し込みください。

相談日時のご希望を伺います（概ね1週間先で3日程度ご希望の候補日時をお聞かせください）。

【人権啓発センター 0795-82-0242】

申込はこちら



・予約、相談日時

月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）

9時00分～17時00分

・相談方法

市役所内の相談室から、専門相談員《特定非営利活動法人Queer and Women's Resource Center》に電話をつなぎます。

1回30分まで 無料・匿名で相談できます。

※来庁が難しいときは、自宅からでも相談できます。

（ただし、市役所までの通話料は相談者負担。）

・対象になる方

性的マイノリティの方、ご家族、友人などで、
丹波市在住・在勤・在学の方



お問い合わせ

丹波市人権啓発センター <TEL>82-0242 <FAX>82-4370